

官報

號外

昭和十五年二月二十五日

○第七十五回貴族院議事速記録第十三號

昭和十五年二月二十四日(土曜日)午前十時十分開議

議事日程第十三號

昭和十五年二月二十四日

午前十時開議

第一 國務大臣ノ演説ニ關スル件(第一日)

第二 牧野法中改正法律案(政府提出)

第三 輸出毛織物取締法案(政府提出)

第一讀會

第二讀會

第三讀會

第一讀會

第二讀會

第三讀會

第一讀會

第二讀會

第三讀會

第一讀會

第二讀會

第三讀會

第一讀會

第二讀會

第三讀會

第一讀會

第二讀會

第三讀會

第一讀會

第二讀會

第三讀會

第三部
決算委員子爵高倉篤麿君ノ補闕トシテ
子爵今城定政君當選

○議長(伯爵松平賴壽君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、議事日程變更ニ付御諮ラ致シマス、日程第一ヲ後ニ廻シ、日程第二、第三ヲ順次議題ト爲スコトニ御異議ゴザイマセヌカ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイモノト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第二、牧野法中改正法律案、政府提出、第一讀會、島田農林大臣

〔左ノ提出文及法律案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

牧野法中改正法律案

勅旨ヲ奉ジ帝國議會ニ提出ス

昭和十五年二月二十一日

內閣總理大臣 米内 光政

陸軍大臣 畑 俊六

農林大臣 島田 俊雄

內務大臣 伯爵兒玉 秀雄

右

第一條ノ二 行政官廳ハ命令ノ定ムル所ニ依リ現ニ牧野タル土地ニシテ特ニ牧野トシテ保護スル必要アルモノヲ牧野特定地ニ指定スルコトヲ得

第一條ノ三 行政官廳公益上必要アリト認ムルトキ又ハ其ノ土地ヲ牧野特定地トシテ存置スル必要ナシト認ムルトキハ牧野特定地ノ指定ヲ取消スコトヲ得

第一條ノ四 行政官廳牧野特定地ノ指定又ハ其ノ取消ヲ爲サントスルトキハ其ノ旨其ノ土地ノ所有者、其ノ土地ニ付登記シタル權利ヲ有スル者其ノ他命令ヲ以テ定ムル者ニ通知シ且命令ノ定ムル所ニ依リ公示スベシ

行政官廳ハ前項ノ規定ニ依リ公示ノ日ヨリ三十日ヲ經過シタル後牧野特定地ノ指定又ハ其ノ取消ニ付牧野委員會ニ諮問スベシ

前項ノ規定ハ國有地タル牧野ニ付テハ之ヲ適用セズ

第一條ノ五 牧野委員會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第一條ノ六 牧野特定地ノ指定又ハ其ノ取消ニ關シ直接利害ノ關係ヲ有スル者其ノ指定又ハ取消ニ異議アルトキハ第一條ノ四第一項ノ規定ニ依リ公示ノ日ヨリ二十五日以内ニ意見書ヲ當該行政官廳ニ提出スルコトヲ得

第一條ノ七 行政官廳牧野特定地ノ指定又ハ其ノ取消ヲ爲シタルトキハ其ノ旨第一條ノ四第二項ニ掲グル者ニ通知シ且命令ノ定ムル所ニ依リ公示スベシ牧野特定地ノ指定又ハ其ノ取消ヲ爲サザルコトト決定シタルトキ亦同ジ

第一條ノ八 牧野特定地ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スル行為ヲ爲サントスル者ハ行政官廳ノ許可ヲ受クベシ但シ命令ヲ以テ定ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 開墾

二 造林

三 工作物ノ新築、改築又ハ増築

四 其ノ他牧野ノ保護ヲ妨グル虞アル行為ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノ

前項ノ規定ハ第一條ノ四第一項ノ規定ニ依リ公示アリタル場合ニ於テ當該公示ニ係ル牧野特定地ノ豫定地ニ付之ヲ準用ス

第一條ノ九 行政官廳ハ牧野特定地ノ所有者其ノ他之ニ付使用收益ヲ爲ス權利ヲ有スル者ニ對シ其ノ牧野ノ維持又ハ改良ノ爲必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

政府ハ前項ノ規定ニ依リ牧野ノ維持又ハ改良ノ爲必要ナル事項ヲ命ゼラレタル者ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ豫算ノ範圍内ニ於テ其ノ執行ニ要スル費用ノ一部ヲ補助ス

第一條ノ十 牧野特定地ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ爲シタル手續其ノ他ノ行為ハ牧野ノ所有者其ノ他之ニ付權利ヲ有スル者ノ承繼人ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス

第二條ノ二 北海道、府縣、市町村、牧野組合、畜産組合又ハ畜産組合聯合會ハ馬ノ生産飼育ノ爲放牧又ハ採草ヲ爲ス牧野ヲ經營スル爲土地ヲ取得シ又ハ使用スル必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ御料地又ハ國有地タリシ土地

官報號外 昭和十五年二月二十五日 貴族院議事速記録第十三號 議長ノ報告 日程變更ノ件 牧野法中改正法律案 第一讀會

一二三

ニシテ現ニ公共團體又ハ私人ノ所有ニ

屬スルモ其ノ利用ノ極メテ不十分ナル

モノニ付行政官廳ノ認可ヲ受ケ其ノ土

地ノ所有者其ノ他之ニ付權利ヲ有スル

者ト土地ノ讓渡又ハ使用收益ノ權利ノ

設定若ハ讓渡ニ付協議ヲ爲スコトヲ得

行政官廳前項ノ認可ヲ爲サントスルト

キハ牧野委員會ニ諮問スベシ

第二條ノ三 前條第一項ノ規定ニ依ル協

議調ハザルトキ又ハ協議ヲ爲スコト能

ハザルトキハ同項ニ掲グル團體ハ其ノ

土地又ハ其ノ土地ノ使用收益ノ權利ヲ

收用又ハ使用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル收用又ハ使用ニ關シ

テハ土地收用法ヲ適用ス

第四條 牧野ニ於テ放牧又ハ採草ヲ爲ス

權利ヲ有スル者ハ牧野組合ヲ設立スル

コトヲ得

命令ノ定ムル所ニ依リ共同シテ放牧又

ハ採草ヲ爲サントスル者ニシテ行政官

廳ノ指定ヲ受ケタルモノハ牧野組合ヲ

設立スルコトヲ得

第五條 牧野組合ハ法人トシ牧野ノ維持

若ハ改良ヲ圖リ又ハ放牧若ハ採草ニ關

スル施設ヲ爲シ以テ組合員ノ共同ノ利

益ヲ増進スルコトヲ目的トス

第七條ニ左ノ一項ヲ加フ

命令ヲ以テ牧野ニ準ズベキモノト定ム

ル土地ハ牧野組合ノ地區ニ關スル規定

ノ適用ニ付テハ之ヲ牧野ト看做ス

第八條第六號ヲ左ノ如ク改ム

六 牛馬ノ受託放牧

七 放牧牛馬ニ關スル衛生施設

八 採草ニ必要ナル共同設備ノ設置

九 其ノ他組合ノ目的ヲ達成スルニ必

要ナル事業

第八條ノ二 牧野組合ハ營利ヲ目的トシ

テ其ノ事業ヲ爲スコトヲ得ズ

第十條第二項ヲ削ル

第十條ノ二 行政官廳特ニ必要アリト認

ムルトキハ牧野特定地タル牧野ニ付地區

ヲ指定シ組合員タル資格ヲ有スル者ニ

對シ牧野組合ノ設立ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ設立ヲ命ゼラレタル

者ハ前條ノ規定ニ從ヒ其ノ設立ニ付行

政官廳ノ認可ヲ受クベシ

第十條ノ三 牧野組合ハ設立ノ認可ヲ受

ケタル時成立ス

第十一條中「特別ノ事由ニ依リ行政官廳

ノ認可ヲ受ケタル者」ヲ「命令ヲ以テ定ム

ル者」ニ改ム

第十三條中「第十條ノ認可」ヲ「設立ノ認

可」ニ改ム

第二十一條ノ二 牧野組合ハ命令ノ定ム

ル所ニ依リ定款ヲ以テ總會ニ代ルベキ

總代會ヲ設クルコトヲ得

總會ニ關スル規定ハ前項ノ總代會ニ之

ヲ準用ス但シ總代會ニ於テハ地區ノ増

減又ハ事業ノ變更ニ關スル定款ノ變更

及組合ノ解散ノ決議ヲ爲スコトヲ得ズ

第二十二條中「第百三十六條乃至第百三

十八條」ヲ「第百三十六條第一項、第百三

十七條、第百三十八條」ニ改ム但書ヲ削ル

第二十五條ノ二 行政官廳必要アリト認

ムルトキハ牧野組合又ハ命令ヲ以テ定

ムル者ニ對シ牧野技術者ノ雇入ヲ命ズ

ルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ政府ハ豫

算ノ範圍内ニ於テ其ノ費用ヲ補助ス

第二十五條ノ三 行政官廳ハ牧野ノ所有

者其ノ他命令ヲ以テ定ムル者ニ對シ牧

野ニ關スル事項ノ報告ヲ爲サシメ又ハ

之ニ關スル書類帳簿其ノ他ノ物件ニ付

必要ナル検査ヲ爲スコトヲ得

第二十五條ノ四 行政官廳特ニ必要アリ

ト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ

馬ノ所有者其ノ他命令ヲ以テ定ムル者

ニ對シ其ノ馬ニ付行政官廳ノ指定スル

牧野ニ於ケル放牧又ハ放牧ノ委託ヲ爲

スコトヲ命ズルコトヲ得此ノ場合ニ於

テハ牧野ノ所有者其ノ他之ニ付使用收

益ヲ爲ス權利ヲ有スル者ハ之ヲ拒ムコ

トヲ得ズ

前項ノ規定ニ依ル放牧又ハ放牧ノ委託

ニ關スル條件ニ付テハ放牧又ハ放牧ノ

委託ヲ命ゼラレタル者ト牧野ノ所有者

其ノ他之ニ付使用收益ヲ爲ス權利ヲ有

スル者トノ協議ニ依ル

前項ノ協議調ハザルトキ又ハ協議ヲ爲

スコト能ハザルトキハ行政官廳其ノ條

件ヲ指定ス

第二十五條ノ五 政府ハ馬ノ生産確保又

ハ資質ノ向上ヲ圖ル爲メ必要ナル場

合ニ於テハ受託放牧ヲ爲ス爲牧野ノ經

營ヲ爲スコトヲ得

行政官廳ハ命令ノ定ムル所ニ依リ馬ノ

所有者其ノ他命令ヲ以テ定ムル者ニ對

シ其ノ馬ニ付前項ノ牧野ニ於ケル放牧

ノ委託ヲ爲スコトヲ命ズルコトヲ得

第二十五條ノ六 第一條ノ二、第一條ノ

三、第一條ノ八、第二條ノ二第一項又

ハ第二十五條ノ四第三項ノ規定ニ依リ

行政官廳ノ爲シタル處分ニ不服アル者

ハ訴願スルコトヲ得

第二十五條ノ七 左ノ各號ノ一ニ該當ス

ル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ料科ニ處ス

一 第一條ノ八ノ規定ニ違反シタル者

二 第一條ノ九第一項ノ規定ニ依ル命

令ニ違反シタル者

三 第二十五條ノ四第一項又ハ第二十

五條ノ五第二項ノ規定ニ依ル放牧又

ハ放牧ノ委託ノ命令ニ違反シタル者

第二十五條ノ八 法人又ハ人ノ代理人、

戸主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從

業者ガ其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シ前

條ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ其ノ法

人又ハ人ハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故

ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第二十五條ノ九 第二十五條ノ七ノ罰則

ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締

役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員

ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ

其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業

ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未

成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二十八條 第二十五條ノ三ニ掲グル者

同條ノ規定ニ依リ行政官廳ノ徵スル報告

ヲ差出サズ又ハ其ノ検査ヲ拒ミタルト

キハ五圓以上二百圓以下ノ過料ニ處ス

第二十九條 本法ニ於テ町村トアルハ町

村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ町村ニ

準ズベキモノトス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(國務大臣島田俊雄君演壇ニ登ル)

○國務大臣(島田俊雄君) 只今議題トナリ

マシタ牧野法中改正法律案ノ提案ノ理由ヲ

申上ゲマス、現時局下ニ於キマシテハ、軍

事上並産業上ノ見地ヨリ致シマシテ、馬ノ

増産及資質ノ向上ハ焦眉ノ急デアリマスル

ガ、之ヲ達成致シマス爲ニハ、牧野ノ整備
擴大ヲ圖ルコトガ必要デアリマス、殊ニ内
地馬政計畫ニ依リ要望セラレマス有能馬ノ
生産ニハ、放牧ヲ必要ト致シマスルコトハ
今次事變ニ於ケル幾多ノ事例ニ徴シ疑ノナ
イ所デアリマス、然ルニ我が國ニ於ケル牧
野ノ現狀ハ、此ノ牧野ノ使命ニ對シ未ダ遺
憾ノ點ガ少クナイモノト存ゼラル、ノデア
リマシテ、茲ニ牧野法ノ改正ヲ要求致シマ
シテ、此ノ必要ニ應ゼムトスル次第デアリ
マス、只今提出致シマシタ牧野法中改正法
律案ハ、過般馬政調査會ノ答申ニ基キマシ
テ立案致シタモノデアリマシテ、其ノ内容
ノ主ナル事項ヲ申上ゲマスルト、先ヅ其ノ
一ツハ牧野特定地ノ制度デアリマス、我が
國ニ於ケル牧野ノ現狀ハ尙一段ノ改良ヲ要
シマスルト共ニ、之ヲ牧野トシテ確保スル
コトヲ必要トスル狀態ニアリマスノデ、特
ニ牧野トシテ保護スル必要アルモノヲ牧野
特定地ニ指定シ、之ガ改良ヲ促進シ、其ノ
監督ヲ周密ニ致シマスト共ニ、併セテ牧野
ノ減少ヲ防止セムト致シタノデアリマス、
次ニ從來北海道等ニ於キマシテハ、御料地又
ハ國有地ノ拂下ヲ受ケ、之ヲ殆ド利用スルコ
トナク放置シテアルモノガ少クナイノデアリ
マスルガ、此ノ中牧野ニ適スル土地ヲ牧野ト
シテ利用セシメマスルコトハ極メテ適切ナル
コトト存ジマスノデ、必要ニ應ジテ之ヲ使用、
收用シ得ルノ途ヲ拓イタ次第デアリマス、
更ニ又牧野組合ノ機能ヲ強化致シマシテ、
牧野ノ經營ヲ爲スコトヲ得ルコトトシ、或
ハ牧野ノ經營者ニ對シ牧野技術者ノ雇入ヲ
命ズルノ途ヲ拓イテ、牧野ノ維持改良ノ周
到ヲ期シ、或ハ必要ニ應ジマシテ放牧ヲ
命ジ得ルコトトシ、以テ牧野ノ整備ヲ圖ラ

ムトスル次第デアリマス、以上ノ如ク民營
牧野ノ擴大整備ニ關スル諸方策ヲ講ズル外
ニ、民間經營ニ依ッテハ十分ニ其ノ成績ヲ
舉グルコトノ困難ナリト認メラレルモノニ
アリマシテハ、必要ニ應ジ政府自カラ牧野
ヲ經營シテ有能ナル馬ノ造成ヲ圖リ、時局
下ニ於ケル馬政ノ遂行ニ遺憾ナキヲ期セム
ト致シタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上
速カニ御協賛アラムコトヲ希望致シマス
○議長(伯爵松平賴壽君) 御質疑ガナケレ
バ、本案ノ特別委員ノ氏名ヲ朗讀致サセマ
ス
〔佐藤書記官朗讀〕
牧野法中改正法律案特別委員
侯爵小村 捷治君 伯爵後藤 一藏君
柴田善三郎君 男爵稻田 昌植君
男爵杉溪 由言君 有賀 光豐君
菅澤 重雄君 大西虎之介君
柴田兵一郎君

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第三、輸出
毛織物取締法案、政府提出、第一讀會、藤
原商工大臣
輸出毛織物取締法案
右
勅旨ヲ奉ジ帝國議會ニ提出ス
昭和十五年二月二十一日
内閣總理大臣 米内 光政
大藏大臣 櫻内 幸雄
商工大臣 藤原銀次郎

輸出毛織物取締法案
第一條 輸出毛織物ハ命令ノ定ムル所ニ
依リ輸出毛織物検査所ノ検査ニ合格シ

タルモノニ非ザレバ販賣ノ目的ヲ以テ
之ヲ輸出スルコトヲ得ズ但シ特別ノ事
情ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受ケタル場
合ハ此ノ限ニ在ラズ
第二條 販賣ノ目的ヲ以テ輸出毛織物ノ
輸出ヲ爲サントスル者ハ命令ノ定ムル
所ニ依リ其ノ輸出毛織物ガ前條ノ規定
ニ從ヒテ輸出セラルモノナルコトニ
付行政官廳ノ檢閲ヲ受クベシ
第三條 主務大臣輸出毛織物ノ輸出ニ關
シ取締上必要アリト認ムルトキハ當該
官吏ヲシテ保税地域内ニ於テ又ハ店
舖、倉庫、工場其ノ他ノ場所ニ臨檢シ
物品、帳簿其ノ他ノ物件ヲ検査セシム
ルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テ當該官吏前二條ノ規
定ニ違反シテ輸出毛織物ノ輸出ヲ爲シ
又ハ輸出ヲ爲サントシタル者アリト認
ムルトキハ被疑者若ハ參考人ヲ尋問シ
又ハ犯罪ノ事實ヲ證明スベキ物件ヲ搜
索シ若ハ之ガ差押ヲ爲スコトヲ得
臨檢、尋問、搜索及差押ニ關シテハ間
接國稅犯則者處分法ヲ準用ス
第四條 輸出毛織物ノ検査ニ關シ之ニ附
シタル輸出毛織物検査所ノ印章又ハ記
號ハ正當ノ理由ナクシテ之ヲ抹消シ、
除却シ又ハ隱蔽スルコトヲ得ズ
前項ノ印章又ハ記號ヲ抹消シ、除却シ
又ハ隱蔽シタル輸出毛織物ハ之ヲ輸出
スルコトヲ得ズ
第五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千
圓以下ノ罰金ニ處ス
一 第一條、第二條又ハ前條第二項ノ
規定ニ違反シテ輸出毛織物ノ輸出ヲ
爲シ又ハ輸出ヲ爲サントシタル者

二 前條第一項ノ規定ニ違反シタル者
前項第一號ノ場合ニ於テハ犯人ノ所有
シ又ハ所持スル輸出毛織物ヲ沒收スル
コトヲ得若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收
スルコト能ハザルトキハ其ノ價額ヲ追
徴スルコトヲ得
第六條 正當ノ理由ナクシテ第三條ノ規
定ニ依ル當該官吏ノ臨檢、検査、搜索
若ハ差押ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シ又ハ
其ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲サズ若ハ虛偽
ノ陳述ヲ爲シタル者ハ五百圓以下ノ罰
金ニ處ス
第七條 輸出毛織物ニ關スル業ヲ爲ス者
ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居者、
雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ
第五條第一項第一號ノ違反行為ヲ爲シ
タルトキハ自己ノ指揮ニ出ザルノ故
ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルコトヲ得ズ
第八條 第五條第一項第一號ノ罰則ハ其
ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其
ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、
未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ
法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關
シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年
者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
第九條 輸出ノ目的ヲ以テ爲ス輸出毛織
物ノ移出ニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依
リ本法ノ全部又ハ一部ヲ準用スルコト
ヲ得
附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
本法施行前ニ輸出毛織物ノ輸出ニ付關稅
法第三十一條ノ免許ヲ受ケタル者ハ第一
條及第二條ノ規定ニ拘ラズ其ノ輸出毛織
物ヲ輸出スルコトヲ得

前項ノ輸出毛織物ヲ除クノ外本法施行前ニ製織シタル輸出毛織物ハ本法施行ノ日ヨリ一月以内ニ輸出毛織物検査所ノ認定ヲ受ケ本法施行ノ日ヨリ六月間第一條及第二條ノ規定ニ拘ラズ之ヲ輸出スルコトヲ得

〔國務大臣藤原銀次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(藤原銀次郎君) 只今議題トナリマシタ輸出毛織物取締法案ニ付キマシテ、提案ノ理由ヲ御説明申上ゲマス、本邦毛織物ハ近年異常ナル輸出ノ増進ヲ示シマシテ、輸出品中特ニ將來性ニ富ム商品デアリマスルガ、本品ハ大部分中小工業者ノ生産ニ係リマス關係上、動モスレバ粗製濫造ニ陥リ、延イテハ粗惡品ガ輸出セラレマシテ、品質ニ對スル海外ヨリノ苦情ガ少クナイノデアリマス、仍テ政府ハ國營ニ依リマスル精密嚴正ナル輸出検査ヲ實施致シマスルト共ニ、其ノ輸出ノ取締ヲ行ヒ、粗惡品ノ輸出ヲ防止致シマシテ、海外市場ニ於ケル聲價ヲ維持シ、進ンデ品質ノ改善向上竝ニ製品ノ高級化ヲ促シ、以テ本品ノ輸出振興ヲ圖リ、輸出貿易ノ健全ナル發展ニ資セムトスルモノデアリマス、以上ノ如キ趣旨ヲ以テマシテ本案ヲ提出致シマシタ次第デゴザイマス、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ望ミマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 御質疑ガナケレバ、本案ノ特別委員ノ氏名ヲ朗讀致サセマス

〔白木書記官朗讀〕

輸出毛織物取締法案特別委員
公爵島津 忠重君 子爵大河内正敏君
男爵赤松 範一君 男爵安場 保健君

竹下 豐次君 內藤 久寛君
稻畑勝太郎君 熊谷三太郎君
岩元 達一君

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第一ニ戻リマス、國務大臣ノ演說ニ關スル件、建部逕吾君

〔建部逕吾君演壇ニ登ル〕

○建部逕吾君 皇紀二千六百年、優渥ナル詔ガ下リマシテ、臣民ハ感激シ、東亞ノ新秩序モ將ニ一歩ヲ進メムトシテ居ル際デアリマス、二千六百年ヨリ前二年 神武天皇都ヲ大和ノ橿原ニ奠メサセ給ヒシ折、尊キ詔ガ下リマシタ、恐ラクハ其ノ極メテ目ト見奉ルベキ一節ニ於テ、先ヅ「上ハ則チ乾靈國ヲ授ケタマフノ德ニ答ヘ、下ハ則チ皇孫正ヲ養フノ心ヲ弘ム」ト仰セラレマシテ、「然シテ後ニ、六合ヲ兼ネテ以テ都ヲ開キ、八紘ヲ掩ヒテ宇ト爲ス」ト仰セラレテアリマス、此ノ御言葉ノ御真意ヲ、恐レナガラ私共ノ小サク低キ心ヲ以テ拜察致シマスルト、國ヲ授クルノ德ニ答ヘ奉リ、正シキヲ養ハセラル、心ヲ弘メサセ給フコトヲ心ニ銘シ、之ヲ基礎トシテ、然ル上ニ其ノ成績トシテ出デ參ルノガ、即チ六合ヲ兼ネ八紘ヲ掩フト云フコトニナルフト見ナケレバナラヌト存ジマス、國ヲ授ケ給フト云フコトハ、國ヲ建ツルト云フコトトハ聊カ意義ヲ異ニスルト認ムベキデアリマス、此ノ頃ハ、我が國ノ國ヲ建テタルハ 神武天皇ノ御時ニ始ルト云フヤウナ見解モ世ノ中ニアルヤウデアリマス、又哲學ニ煩瑣哲學アルガ如ク、史學ニモ煩瑣史學トモ名ヅクベキモノガアルヤニ聞及ビマスルノデ、是等ノ人々ハ、動モスレバ我が國史ニ於ケル 元明天皇和銅四年

古事記ノ撰定ガ出來ル迄ハ、國史ノ存立ト其ノ然ラザルトハ稍、怪シイモノデアルト迄申ス者モアルヤニ仄カニ承ツテ居リマス、私ハ丁度トハ正反對ニ、我が國ノ國ヲ肇ムルコト宏遠、肇國ト云フ事實ハ 神武天皇ヨリ遙カニ後ニアラズシテ、却テ遙カニ前ニアルモノト、常ニ固ク信ジテ居ルモノデアリマス、我が國ノ國ヲ肇ムルハ、精々遅ク積ジテモ 天照大神ノ御時ニアルモノト、常々固ク信ジ學生ニモ教ヘテ居ッタ次第デアリマス、次ニ皇孫正ヲ養フノ心ヲ弘ム、皇孫スラモ正ヲ養ヒ遊バス、況ヤ一般ノ臣民ニ於テヤ、況ヤ萬國ノ臣民ニ於テヤ、ト申スコトハ是レ當然ノ論理デアリマス、此ノ頃ハ能ク八紘一字ト云フコトガ申サレマスガ、若シ正ヲ養フト云フ基礎ニ立ッテ八紘一字デアリマセヌナラバ、其ノ所謂八紘一字ハ、單ニ輪廓ノ八紘一字ニ過ギマセヌ、内容ナク實質ノ空虚ナル一場ノ駄馬螺ニ過ギヌト言フモ敢テ不遜ノ言葉デナカラウト存ジマス、八紘一字ヲ充實スルノハ正ヲ養フニ在リマス、正ヲ養フトコトハ、大詔ノ許サザル所デアルト信ズルノデアリマス、昨年ノ十一月中旬デアツカト思ヒマス、「アメリカ」ノ全權大使「グルー」君ハ、其ノ賜暇歸國ヨリ更ニ來朝サレマシタル其ノ歡迎上ニ於テ聲ヲ勵マシテ、東亞ノ新秩序ナドト言フガ、是ハ「アメリカ」人ニハ全然不可解デアル、斯様ニ申シタト云フコトガ當時ノ新聞紙上ニ傳ハツテ居リマス、新秩序トハ何デアルカ、之ニ對シテ其ノ列席ノ内外人ハ相顧ミテ答フルコトヲセナカタヤウニ傳ヘラレテ居リマスガ、何デモナイト私ハ考ヘル、宇宙ノ實理ニ則リ、天地ノ正道

ニ率ヒ、在來ノ劣惡ナル制度ヲ革新シ、一切ノ弊害事項ヲ洗ヒ除キ、宇宙ノ發展ニ參與シ、社會ノ進運ヲ翼賛スル、斯クノ如キ仕事ノ成績ガ即チ是レ新秩序デアルト、斯様ニ答ヘレバ何デモナイノデアル、此ノ位ナコトハ「アメリカ」ニモ其ノ人アリト知ラレ、外交官トシテモ我が日本帝國ニ選バレテ來ルダケノ人物ナラバ、此ノ言葉ヲ片言ダケ聽イテモ、ア、ソレカト速カニ諒解スル位ノ頭腦ハ十分持合セテ居ル管デアアルデアリマス、カルガ故ニ新秩序ハ正ト云フコトニ始リ、正ト云フ途筋ヲ通り、正ト云フコトデ出來ルンデアル、即チ新秩序ト云フモノハ、今日眼ヲ開ケテ世界ヲ達觀致シマスルト、實ニ世界の大機運デアルト云フコトヲ看取ラザルヲ得ヌノデアリマス、獨リ東亞ダケ新秩序ノ時代デハナイノデアリマス、只今申上ゲタ八紘一字ト、正シキヲ養フ即チ養正トノ重要關係ニ付テ、文部大臣ハ必ズ御同意デアラウト思ヒマスルケレドモ、極メテ重大ニシテ、且世俗ノ往々閑却スル所デアリマスガ故ニ、改メテ後御答辯、御考ヲ御聽カセ願ヒタイト思ヒマス、先ヅ世界の新秩序ノ時代ト申シマシタル言責上、一言蛇足ヲ添ユルコトヲ御許シ願ヒマス、西洋列國ハ今ニ於テ新秩序ノ情勢ガ急迫致シテ居リマス、試ミニ西洋諸國ノ社會文明ノ行詰リ的事實ヲ、チヨット眼ヲ開ケテ見タナラバドシナ事ガアルカ、一ツニハ人口減衰ノ大勢デアリマス、二ツニハ風俗ノ陵夷、衰ヘル方ニ向ヒツ、アルコトデアリマス、「イギリス」デ千九百十年ニ人口減衰對策ノ重要ナル調査研究機關ヲ國立デ設置セラレマシテ、其ノ時ニ國王陛下ノ詔迄下ツテ居ルノデアリマスガ、其ノ機關

ノ名前ハ、人口問題研究會トカ、審議會ト
カト云フ名前デハアリマセヌ、國民公道會
「ナショナル・カウンスル・オブ・パブリック・
モーラルス」、人口問題調査研究ノ機關ヲ、公
衆道德、社會道德、「パブリック・モーラル
ス」ノ問題ト稱シマスルコトハ、誠ニ徹底
セル識見ノ政治家ノアルコトヲ示スモノデ
アリマシテ、如何ニモ人口問題ノ根柢ハ是
レ風俗道德ノ問題デアルト云フコトヲ、最
モ明確ニ表明セルモノデアアルデアリマス、
即チ人口ノ衰勢ト風俗ノ陵夷トハ、表トナリ
裏トナル所ノ事實デアリマス、三ツニハ、
是ハ國內ノミデナク國際ニモ關係スル對外
政策、所謂洗ッテ見レバ、弱肉強食ノ對外政
策、權謀術數ノ對外政策ノ爲ニ、西洋各國
ハ自ラノ作レル原因ヨリ刈取ラザルベカラ
ザル所ノ結果ニ、今ヤ行儀ミ、且煩悶シツ
ツアルノデアリマス、四ツニハ思想ノ沈滯
デアリマス、權利、是ハ人間社會ノ進歩ノ
必ズ通過セザルベカラザル所ノ舞臺デアリ
マスガ、權利ニ止ッテ、更ニ義務ヲ重シズル
ト云フ所迄行キマセヌナラバ、是ハ所謂第
二期的思想タルニ過ギマセヌ、之ニ伴ヒマ
シテ個人主義、自由主義、又皆ソレデアル、
野蠻ノ社會生活ニハ個人主義ハアリマセ
ヌ、自由主義ハアリマセヌ、茲ニ到著シ、
扱テ之ヲ通り過ギルト云フコトガ大切ナノ
デアリマス、然ルニ其ノ通り過ギル所迄ハ
マダ、遙カニ先ニ之ヲ見テ居ルダケデア
リマス、斯様ナルコトデ、以上大體ヲ申シ
マシタケレドモ、茲ニ一ツ注意ヲ要スルト
言ヒマセウカ、皆様ノ御考ヲ煩シテ見タイ
ト思フコトガ附帶シテアルノデアリマス、
ソレハ道心萎靡、道ヲ重シズルノ心、道ノ
心、是ガ萎靡シ麻痺シテ居ルト云フ現象ト

シテ、次ニ申上ゲルヤウナコトニ見ルコト
ハ當レリヤ否ヤノ點デアリマス、國務大臣
ノ方々ニハ、殊ニ御考慮ヲ願ヒタイ、ソレ
ハ即チ近頃流行ノ宣傳ト云フコトデアリマ
ス、宣傳ハ可ナルコトアリ、不可ナルコト
アリ、又可ナク不可モナキコトモアリマス
ルガ、其ノ最モ甚ダシキモノニナリマスル
ト、私ハ敢テ之ヲ公議ト名ツケルノデア
ル白日ノ下、青天ノ下ニ於テ、大ビラニ公
僞ヲ竝ベ立テテ他人他國ヲ譏言スル、公
譏言スルコトデアリマスカラ、此ノ種ノ最
下等ナル最惡ナル宣傳、之ヲ名ツケルニ公
譏ナル言葉ヲ以テスルコトガ適當デアラウ
ト思フ、此ノ現象ヲ何ト見ルカ、是ハ單ニ
西洋諸國ト云フノデアリマセヌ、世界列
國ガ今日道德上ニ於テ大ナル行詰リナッテ
居ルト云フコトハ、ヨモヤト思ヒツ、アリ
マスル間ニ既ニ此ノ極ニ至ッテ居ルト云フ、
斯様ナル感ジヲ皆様ハ御持チニナリマスデ
アリマセウカ、是ハ皆様ニ、質問デアアリ
マセヌケレドモ、附タリノ一言ト致シマシ
テ、機會ヲ得テ御誨ヘニ接シタイと思フ
ツノコトデアアルノデアリマス、斯クノ如キハ
皆是レ第二期文明ガ没落ニ瀕スル時期ニ於
キマシテ、斷末魔ノ惱ミ、揚ゲタル所ノ悲
鳴ト申シテ宜シイ、事實ト認メタイノデア
リマス、イヤ認メタクハナイノデアリマス
ルガ、認メザルヲ得ヌノデアリマス、然ル
ニ列國ハ之ニ對シテ猛省スルコトヲ知ラズ、
又由ッテ來ル所ヲ洞察スルコトヲ知ラズ、況
ヤ之ヲ裁理スル所以ヲ知ラナイト云フ状態
ハ、誠ニ新秩序ノ勢今ヤ正ニ迫リ來ッテ居
ト云フ此ノ著明ナル現象デナイカト、甚ダ
人類ノ爲ニ殘念ニ存ズル次第デアリマス、
第一次世界戰亂終ッテ茲ニ既ニ二十有餘年、

僅カニ二十年ニシテ再ビ少クトモ第二ノ歐
洲戰亂ガ避クベカラザル事實トシテ眼前ニ
現ル、如キハ、是レ決シテ人類ノ名譽デハ
アリマセヌ、是レ決シテ「キリスト」教ヲ奉
ズル者ノ得意トスベキコトデハナイノデア
リマス、所謂國際聯盟ト云フモノガ出來マシ
タケレドモ、是ハ斷ジテ此ノ程度ニ於ケル
文明、此ノ程度ニ於ケル思想、此ノ程度ニ
於ケル社會、此ノ程度ニ於ケル國及ビ國民、
其ノ類ノ者ガ、國際聯盟其ノモノニ依ッテ、
國際聯盟其ノモノノ目的ヲ達スルナドトハ、
思ヒモ寄ラヌ所デアルト申スノ外ハナイノデア
リマス、サアソコデ何ガ出來タ、出來タ所
ノモノハ何デアアルカ、國際封建體制、「イン
ターナショナル・フーダリズム」トモ言フ
ベキモノ、イヤ言フベキモノデアリマセ
ヌ、昭和二年、一九二七年ニ、私ハ本帝國
議會、其ノ代議員ノ一人トシテ第二十四回
萬國議員聯合ノ席ニ臨ミマシテ、此ノ時ニ
鄙見ヲ一言スルノ機會ヲ與ヘラレマシタ、
ソレニ既ニ此ノコトハ現實ニ申シタノデア
リマス、全ク國際封建體制ト謂フベキ状態
ガ面ノアタリ、シテ諄ク我々ノ眼前ニ展開
サレツ、アルノデアリマス、其ノ状態ハ恰
モ我が元龜、天正ノ如ク、又酷ダ支那ノ春秋
戰國ノ時代ニ似テ居リマス、孟子ハ春秋ニ
義戰ナシト申シマシタガ、果セル哉今日ノ
所謂世界ノ平和ニ波立デテ居リマスル戰爭
ハ、何等義戰ト稱スベキモノガ無イノデア
リマス、唯有所ハ何デアアルカ、或ハ明カ
ニ飛躍シ、或ハ暗ニ飛躍スル、所謂明飛ト
暗躍トアルノミデアリマシテ、或ハ公ニ戰
ヒ或ハ私ニ闘フ……公戰ニ於テモ私闘ニ於
テモ、唯萬民ヲ塗炭ニ陥レルト云フニ過ギ
ナイ、ソレダケデアアルノデアリマス、若シ

モ併シナガラ西洋列國ガ、正シキヲ養ヒ本
ヲ固メ、新秩序ヲ建設シマスルナラバ、大
勢ヲ轉換スルハ何デモナイノデアアル、斯ク
ノ如キ人々、斯クノ如キ國々、社會ドモ
ガ、却テ東亞ノ新秩序ト云フコトニ對シテ、
縱令彼等ノ耳ニハ聽キ慣レヌコトデアルト
シテモ、之ヲ大層怪シデ居ルト云フコトコ
ソ最モ訝シムベキノ至リデアルト申サナケ
レバナリマセヌ、海軍陸軍ノ專門家ハ勿
論、一般ノ政事家ト雖モ、軍艦ノ年輪、所
謂艦齡ノ盡ルニ垂ントスルコトニハ多大ノ
注意ヲ拂ッテ居リマスルケレドモ、自國ノ國
家ノ體制、社會ノ組織ト云フモノガ段々年
ヲ取り、朽チ且腐ル方ニ向フト云フコトニ
對シテハ、案外ニ淡泊デアルト云フコトハ、
頗ル奇妙ニ感ゼラレルノデアリマスルケレ
ドモ、是亦政治ノ事務化ト云フコトガ一ツノ
原因トシテ斯クノ如ク氣ノ毒ナル事態モ出
テ參ラウト云フモノデアリマス、「キリス
ト」ハ嘗ツテ、道德ニ少シク遠ウタ所ノ或婦
人ノコトニ關シテ野次ガ澤山周リデ見テ居
ル、之ニ對シテ、汝等ノ中唯ノ一人デモガ
此ノ婦人ヲ裁ク資格ガアルカト申シマシ
タ、以上ハ主トシテ西洋ヲ中心トシテノ世
界ニ付テ觀マシタガ、西方東亞裁クコトモ
如何ハシク、又東方西亞裁クコトモ百「パー
セント」ノ自信ヲ以テスルニハマダ少シ
ク早イヤウニ感ゼラレルノデアリマス、西
洋ノ勢力ガ東亞ヲ壓シ來タコトハ實ニ久
シイモノデアリマス、今一々之ヲ言フニ
忍ビマセヌ、世ノ中デハ支那ハ植民地化ジ
テ居ルト云フコトヲ申シマスルガ、誠ニ此
ノ言葉ハ稍、鄙シイ言葉デアリマスルケレド
モ、奈何セム事實ハ則チ此ノ言葉ニ稍、當
ルモノガアルノデアリマス、國ガ獨立スル

ト云フコトハ獨立ノ事實ニ由ルノデアル、獨立ノ事實アルコトニ由ツテ、國ノ獨立ト云フモノハ發生スルノデアル、獨立ノ事實ハ何ニ依ツテ生ズルカ、其ノ國ガ獨立ノ義務ヲ完スルコトニ依ツテ生ズルノデアリマス、故ニ獨立義務ヲ完全ニ實行スルト云フコトガナケレバ、獨立權ト云フモノハ成立致サスノデアリマス、況ヤ他國ニ依ツテ獨立スル依他獨立、是ハ悲慘ヲ通リ過ギテ寧ロ滑稽ノ感ヲ與フル大イナル矛盾デアルト一驚ヲ喫セザルヲ得ヌノデアリマス、我が隣國ノ支那、蔣介石君ハ最モ其ノ國ノ獨立ヲ熱望スル人デアリマス、彼ガ獨立ヲ唱道シ、獨立ヲ主張スルコトハ固ヨリ結構デアアル、併シナガラ事毎ニ自ラ獨立權ヲ傷害シテ居ッテ、又遠ク獨立ノ事實ヲ離レ、殊ニ昭和十一年ノ十二月西安ニ於テ誠ニ氣ノ毒ナル災難ニ罹ツタ、アノ災難コノ方、殊ニ此ノ癡ガ甚ダシク、若シ高等ナル複雑ナル醫術ノ人ガ判斷シマシタナラバ、是ハ最早生理ヲ解剖ノ問題以上ノ醫學ノ分科ニ屬スル現象ト、或ハ判斷シハセスカト私ハ懸念スルノデアリマス、併シ要スルニ誠ニ氣ノ毒ナコトデアリマスガ、一個人トシテ氣ノ毒ガ爾ナント云フコトハ、是ハ却テ蔣介石君ニ對シテ禮ヲ失スルカト思フノデアリマス、幸ニ我々ハ我が皇國ノ臣民デアリマス、我が皇國ハ單ニ此ノ人、此ノ一ツノ國、此ノ一ツツノ事件ニ對スルノミナラズ、夙ニ大義ヲ重ンジ、大局ヲ達觀シ、實理ニ是レ則リ、正道ニ是レ率ヒ、隣邦ノ獨立ヲ扶植スルコトヲ以テ、萬國ノ一般ノ平和威寧ヲ維持スルコトヲ以テ任ト爲シテ居ルモノデアリマス、然レニ彼蔣介石君ハ、之ニ反シ之ニ逆ヒマシテ、排日、抗日、侮日、之ヲ以テ而モ十年教訓ト

云フコトヲヤツテ居ル、成程十年教訓ノ成績ハ見ルベキモノガアル、併シ此ノ十年教訓ノ成績ノ見ルベキモノガアルト云フコトハ、是レ即チ彼蔣介石君ガ道ヲ離レ、正シキニ反シ、日々益々遠ザカリ行ク所以デアアルノデアリマス、蔣介石君ハ、道義ヲ重ンジ獨立ヲ熱望スルト云フコトヲ自ラモ期シテ居ラレルノデアリマセウガ、蔣介石君ノ爲ス所ヲ見マスルト、天下最モ自國ノ獨立ヲ厭フ者ハ是レ蔣介石君デアルト、遺憾ナガラ評スル者モ出マイトハセヌノデアリマス、蔣介石君ハ口ニ獨立ヲ唱ヘ、而シテ實ハ屬國……其ノ中ニハ植民地モアリマス、屬國ノコトヲ行ウテ居ル、恰モ是レ妙齡ナル子女ガ白奴ノ群ニ投ズルモノニ似テ居リマス、排日抗日ト云フコトハ、是ハ恰モ膠ヲ漆ノ間ヘ粗キ砂ヤ砂利ヲ投ゲ込ムト同ジコトデアアルノデアリマス、カルガ故ニ東亞ノ新秩序ハ何カラ始メナケレナバラスカト申シマスレバ、蔣介石君ノ倒行逆施ヲ匡シ直シテヤル、救ウテヤル、是カラ手始めヲセスケレバナラス、カルガ故ニ我が國モ已ムヲ得ズバナラシメ、今日ノ日支事變ト云フモノノ起ツタノニ對シテハ、正當ニ且勇敢ニ之ニ應ジテ手答ヲ執ラザルヲ得ナイ次第、茲ニ根柢ノ正シサガアルノデアリマス、果セル哉皇軍ノ向フ所風起リ草偃シ、既ニシテ近衛聲明ガ出タ次第デアリマス、汪兆銘君ガ次イデ起チマシタ、夙ニ蔣政權ノ下ニ於ケル支那ガ久シク既ニ獨立ヲ失ウテ居ルト云フコトノ事理ニ通ジテ、ソコ彼ノ絶叫セル所ハ所謂和平救國ノ四字デアリマス、既ニ救國ト云フ、而モ之ヲ全幅ヲ打込シテ絶叫致シマス以上、彼自ラ彼ノ國ガ實ニ危急存亡ノ秋デアルト云フコトヲ認メタ確證ト見テ

宜シイノデアリマス、近衛聲明ニモ亦言ウテアル、支那ノ獨立完成、既ニ獨立完成ガ狂人ノ癡言デナク意義アルコトデアリマスルナラバ、是ハ直チニ現狀ニ於ケル支那ハ未ダ完全獨立國ニアラズト云フコトヲ含シダ言葉デアルト申サナケレバナリマセヌ、尙又近衛聲明ニハ新秩序建設ノ分擔者トシテノ職能ヲ實行スルニ必要ナル最小限度ノ保障ヲ要求スルト云フコトガアル、是ハ要求ト云ウテモ、決シテ權利ヲ要求スルノデハナイ、我ハ我ガ義務、道徳上ノ義務ナリ本務、義務本務ヲ實行シ、單ニ實行スルノミナラズ完全ニ實行スル、其ノ道ヲ全ウスルト云フコトニ對スルノ要求デアアルノデアリマス、彼ノ國ヲ救ヒ、彼ノ國ヲ持ヘ上ゲルト云フ崇高ニシテ雄偉ナル事業ヲ達成スルノ義血快血ヲ十分ニ發揮スルガ爲ノ必ズ生ゼザルベカラザル希望デアアルノデアリマス、所謂已ム已マレヌ大和魂ノ發動デ實ニ天ニ對スル本務ノ完全實現ノ宣明タルニ外ナラヌノデアリマス、東亞新秩序ノ建設ハ、其ノ中樞ハ只今迄申シリマス、支那ノ獨立完成ノ中樞ガ蔣介石君ノ倒行逆施ヲ匡濟スルニアリシガ如ク、東亞新秩序ノ中樞ハ實ニ支那ノ獨立完成ニアリマス、然ラバ之ガ成シ遂ゲラレタト假定シテ、其ノ成績ハ何ニナルカ、日本帝國ハ儼トシテ在リ、滿洲國モ亦儼トシテ在ル、茲ニ支那ノ獨立完成ガ出來マシタナラバ、支那ノ獨立完成國救國モ儼トシテ在ル、斯ウナリマシタ上ニ於テハ、茲ニ出テ參ル、又參ラザルベカラザルモノハ、東亞社會聯合デアリマス、世ノ中ニハ東亞聯盟ト云フ文字ヲ以テ呼ブ者モアリ、又東亞協同體ト呼ブ者モ

アリマスガ、此ノ二種ノ文字ガ果シテ當レルヤ否ヤ、弊ガアリハセヌカト云フコトハ是ハ學究ノ批判ニ任セマス、東亞社會聯合ト云フ此ノ經綸竝ニ批判ハ、既ニ約二十年「ヨーロッパ」ノ所謂具眼ノ士ガ夙ニ又言ウテ居ル所デアリマス、一例ヲ申上ゲマスレバ、「オーストリヤ」ノ「クーデン・ホーフェー・カレルギー」、又私共ノ同學ノ「ロシヤ」ノ「ノビコフ」、其ノ他々々デアリマス、歐洲ノ具眼ノ士ニシテ、殊ニ其ノ中ノ一二ノ人々ノ如ク最モ公平ニ、私無ク、世界ノ將來ヲ揣摩シ斷定スルト云フ人々ガ、既ニ唱ヘテ居リマスル此ノ事實カラ見マシテモ、其ノ爲ニ世界ノ安寧福祉、況ヤ其ノ一部デアリマスル所ノ歐米ノ安寧幸福ガ、之ガ爲ニ何等損害ヲ受ケナイト云フコトハ、略、茲ニ明カデアルト申シテモ宜シイデアリマス、道徳ト云フモノニハ法律ノ言葉ニ申スヤウナ時効ハアリマセヌ、東亞ニ於テ、極メテ言葉ヲ穩當ニスル爲ニ私ハ敢テ國際ト申シテ置キマス、從來東亞ニ於ケル東洋ト西洋トノ國際關係ハ、必ズシモ總テ道徳的ナルモノノミデハナカッタコトハ、今茲ニ改メテ申ス必要ハアリマセヌ、道徳ニハ時効ハアリマセヌ、併シ其ノ時効ナイ道徳ニモ、既往ハ咎メズ、出來タコトハ咎メヌト云フ格言ガアリマス、況ヤ現今今日只今、先ニ申シマシタ第二期末ノ文明ニ過ギザル稍、低級ナル文明ノ世ノ中ニ於キマシテ、法律上ノ既成事實ハ之ヲ認識シ之ヲ尊重スル、左様致シマシテモ何等道ヲ害スルモノト云フニハ當リマセヌ、サレバ歐米各國ノ東亞ニ於テ利害ヲ有スル所ノ國々又人々ハ安心シテ然レベキデアリマス、唯新秩序ガ一旦建チマシタル以上ニ於キマ

シテハ、此ノ社會ニ於ケル規範制約トナルモノハ、必ズ新秩序ノ根柢ニ於ケル養正ノ精神、實理ニ則リ正道ニ率フト云フ此ノ嚴密ナル制約規範ノ效力ヲ發スルニ於テ何等寛假スル所アッテハナラナイノデアリマス、日滿支三國社會聯合ヲ以テ、東亞新秩序ト云フモノノ形態ハ茲ニ出來ルンデアリマス、世界殊ニ英米佛等列國ニモ亦具限ノ士アリ、同憂ノ士ガアリマセウ、是等具限同憂ノ士ハ茲ニ一旦釋然トシテ來ツテ、之ニ向ヒ來ツテ、此ノ偉業ヲ援ケル、是ハ年ヲ期シテ待ツベキモノデアルト、人類ノ名譽ノ爲ニ私ハ堅ク信ジ、大イニ期待セムト欲スルモノデア

體セムガ爲ニ、敢テ此ノ要求ヲ提出スル次第デアリマス、近衛聲明ハ、神武天皇都ヲ樞原ニ奠メ給ヒシ彼ノ尊キ詔ニ基キ、新秩序ヲ東亞ノ一角ニ建デ、以テ世界新秩序ノ盛ナル機運ヲ啓カムトスルモノデアリマス、是レ誠ニ天ヲ敬ヒ人ヲ愛シ經綸ノ大業ナルモノト言ハナケレバナラス、大乘ドコロデハナ

於テ缺クベカラザル事柄デアリハセヌデアリマセウカ、御伺ヒ致シタイノデアリマス、當局大臣方ニ於カセラレマシテハ、固ヨリ至誠ヲ以テ民ヲ憐レム方々ト存ジマス、周到ナル畫策ヲ餘ル程御持合セノ方々ト存ジマスガ、果シテ此ノ間ニ善處スルト云フ御覺悟モアリ、又御決心ガ御有リニナリマスルカ、又之ニ附帶シテ御伺ヒシタイノハ、所謂最小限度ノ保障ト云フモノガ、伸縮事ニ應ジ、綱目宜シキニ隨ヒ、以テ事ヲ理メ、機ヲ制スルト云フ其ノコト、此ノ事項ニ對スル所ノ對策トガ、若干ノ關係ヲ以テ取扱ハルルコトモアリ得ル、又ヤラウトスルナラヤリ得ルト云フヤウナ、何等カノ關係ヲ其ノ間ニ御認ニナツテ居ルコトガアリマスルカ、

此ノ自己批判ガ若シ幾ラデモ缺乏シテ居ルト云フ人デアリマスルナラバ、寧ロ初メヨリシテ其ノ局ニ當ラザルニ如カズト、敢テ私ハ斷言致シマス、我が國ト、否寧ロ我レト汪兆銘君トハ志ヲ同ジウシ、事ヲ共ニスルト云フコトデアリマスル以上、汪兆銘君モ亦小ッボケナル小乗のナル或ハ權謀或ハ術策、否寧ロ小計小策ト云フモノヲ弊履ノ如ク一擲シテ、大乘ノ高處大處ニ立ツテ、須ク漢室ヲ興隆スルヲ以テ畢生ノ任ト致シマシタル諸葛孔明ヲ以テ自ラ居ラザルベカラザルモノデアリマス、支那ノ所謂新學術、是ガ出テ來タト云フノデ、日本ノ「ハイカラ」評論家ハ一時大イニ支那ハ相手ニナルナド踊リ上ツテ喜ンダ様子デアリマシタガ、是ガ即チ一面支那ヲ誤ルノ大ナル效果ガアツタト私ハ見タイノデアリマス、歐米ヲ將ニ覆ラムトスル舊套ヲ襲ヒ、以テ自ラ墮落ノ淵ニ入ツタト云フ此ノ事實ガ、相當多

世界ニ對シテモ、先づ我が面目ヲ完ウシ、我が理論ヲ貫徹シナケレバナラスノデアリマス、茲ニ私ハ四ツノ事柄ニ付テ御伺ヒ致シタイノデアリマス、項目ダケヲ舉ゲマス、第一ハ外政ノ新秩序デアリマス、第二ハ教政ノ新秩序デアリマス、第三ハ上、信ヲ下ニ失フト云フ點デアリマス、第四ハ政治ノ唯物的墮落ノ傾向ト云フコトデアリマス、今其ノ各、ニ付テ諄イコトヲ申スコトヲ省ク爲ニ、二三ノ例ヲ以テ説明ニ代ヘヨウト思ヒマス、第一ノ外政新秩序ニ付キマシテハ、先づ愛ノ外交ヲ去テ敬ノ外交ニ就イテ戴キタイ、一體愛ノ外交ト云フコト、敬ノ外交ト云フコトハ、モウ少シ適切ナ申シ方モアリマスケレドモ、野人ナガラモ、餘リニ敬ヲ失ウテハイケマセスカラ慎ミマス、孔子ガ晏平仲ノ善ク人ト交ハルト云フコトヲ稱メマシテ、久シウシテ之ヲ敬ス、人ニ敬セラレル、敬ハレル、又損ニナル、友達ガ三類アル、便辟、善柔、便佞、之ヲ損者三友ト言ウテ居ル、是等ノ點ニ付キマシテハ、個人ノ交リモ國際ノ交リモ、交リノ道、交通ハ一ツデアルト大體申シテ宜シイ、其ノ例ヲ二ツ三ツ舉ゲテ見マスルト、一ツニ外國人ニ對スル禮儀、實際ト云フコト、之ニ付キマシテハ二三ノ例ヲ舉ゲマス、大正十四年四月十八日ノ文部省訓令第七號師範學校修身科教授要目ノ其ノ第三學年ニ、外國人ニ對スル禮儀ト云フノガアリマス、アリマスノデアリマセヌ、幸ニ我が文部省ノ如キハ、實ニ國運ノ伸張ニ應ズル以上ノ優秀ナル機關デアルト云フ點ハ見ラレルノデ、即チ昭和六年ノ三月ヲ以テ是ハ廢サレ居リマス、ケレドモ惡イコトヲシテ子供ガ善イコトヲスルト釘ヲ一本ヅ、抜イテヤル、釘ハ抜カレテモ釘ノ跡ハ消エナイト云

フ譯デ、殊ニ教育ノ仕事ハ人心ニ浸潤スルモノデアアル、故ニ大正十四年ヨリ昭和六年ニ至リマス間ノ教育ノ效果ハ、矢張り消エナイノデアリマスカラ、ソコダケハ一ツ御了解ヲ願ッテ置カナケレバナラス、故ニ私ハ一言スル、孔子モ言ッテ居ル、言忠信ニシテ行篤敬ナレバ蠻貊ノ邦ト雖モ行ハレン、我が明治天皇ノ畏クモ明治二十三年十月三十日ノ詔ニ「恭儉己レヲ持シ博愛衆ニ及ホシ」ト仰セラレテ居ル、サウシテ總テ十五ノ項目ヲ一括シテ、其ノ後ニ「之ヲ中外ニ施シテ悖ラス」ト斯ウ仰セラレテアリマス、然ラバ「恭儉己レヲ持シ博愛衆ニ及ホシ」ト云フコトガ、内國人同志ニ於ケル實際ノ要道デアリマスナラバ、外國人ニ對シ、蠻貊ノ邦ニ對シテサヘモ、ソレデ澤山ナノデアアル、然ルニ何ヲ苦シンデ外國人ニ對スル禮儀ナドト云フコトヲ……今日ハ過ラ改メタリマセヌケレドモ、誠ニ文部省ニハ似合ハヌコトデアリマシタガ、只今ノ文部省ト違ヒマシテ、二十年前三十年前ノ文部省ニハ中途ニ變ナ事モアッタ、併シ又四十年前前ノ文部省ニハ畏クモ此ノ大詔勅ニ副署スル光榮ヲ荷ウタ文部大臣モアラレタコトデアリマシタ、私ハ此處デソレ等ノ人ヲ非難スル爲ニ起ツタノデアリマセヌ、サウ云フコトガ消エタ一ツノ現レト致シテデアリマセウ、二ツニ人形外交ト云フコトガアリマス、「アメリカ」カラ人形ガ來タト云フノデ、其ノ複製デアリマスカ又澤山來タノデアリマスカハ私存ジマセヌガ、私ノ郷里ノ村ノ小學校ナドデハマルデ御神輿ヲ昇グヤウナ状態デ、大騒ギヲシテ之ニ對スル禮拜ヲヤッタノデアリマス、是ハ私ノヤウナモノガ生レル片田舎デアリマスカラ、甚ダ程度ノ低

イト云フ爲モアツカモ知レマセヌ、之ヲ以テ全國ヲ推スノハ甚ダ禮ニ適ハズ、又科學的研究法デハナイカモ知レマセヌガ、上ノ好ム所下是ヨリ甚ダシキモノデアリマシテ、少シバカリ上ガ権ガ緩ミマスト云フト途方途轍モナイコトガ、普天ノ下率土ノ濱何レカ王土ニ非ザラン、王臣ニ非ザランデハアリマスケレドモ、顯微鏡ヲ以テ擴大シタヤウニ事ガ出テ來ルト云フコトハ、是コソ釋迦ニ說法以上ノ愚ナルコトデアリマスケレドモ、ツイ所感ヲ漏シマシタコトハ御許ヲ願ヒマス、ソレニ懲リズニ又近年ニ至リマシテモ、「アメリカ」等ニ人形使節ガ行クトカ云フコトガアル、使節デ思ヒ出シマシタガ、更ニ三ツニハ國民使節ト云フモノガアル、一體誰ガ其ノ人ヲ……如何ナル手續方法ニ依ツテ、國民代表、國民使節タルノ資格ヲ與ヘタモノデアルカ、ソレハ法律家ノ玄關番ノヤウナ議論デアリマスケレドモ、國民使節ナドト銘ヲ打タヌデ行キマスレバ相當ノモノデアルベキ人物ヲ、私モ目撃致シテ居リマス、サウ云フオ節ノヤウナ、コセノシタコトハ御止シニナルガ宜イノデアアル、四ツニハ便佞トカ、便辟トカ、善柔トカデアリマセヌケレドモ、人物ノ利用ニ付テ倒行逆施ノ氣味ガアリハセヌカト思フ、或特定國ニ對シテ特定ノ難問題ヲ解決セムトスルノニ、其處ノ國ノ上下ニ愛セラレテ居ルト云フ者ヲ、特ニ其ノ難局ニ當ラセル、其ノ人ハ、力備モ手腕モ人格モ相當立派ナ人デアルト致シマシテモ、是ハ却テ難局ニ立タセ、適材ヲ不適所ニ置クコトニナルコトガ、百「パーセント」デナクトモ六七「パーセント」ハドウモアリ得ルコトデア

ルヤウニ、私共歴史上、或ハ現實ノ事實上ニ於テ見テ居ルコトガアルノデアアル、是等ノ點ハ一考ノ價值ガアルカト思ハレマス、サア、五ツニハ去ヌル七月二十六日、日米通商條約ノ豫告ナシノ廢棄ト云フコトニ對シテハ、朝野幾ラカ囁然トシタ、マアソレ以上ハ申シマセヌ、六ツニハ八月下旬ニハ獨「ソ」不可侵條約、是等ニ對スル所ノ國民竝ニ當局ノ御態度ト云フモノハ、ドウ云フコトデアリマシタカ、又七ツニハ楊子江下流開放ト云フコト、是ナドハ如何ナル動機ヲ以テナサツタコトデアリマスカ、ト云フ是等ノ事實ハ私ニハ能ク分リマセヌガ、一體近頃低級ナル教育者ト雖モ、個性訓練ト云フコトガ大切ダト云フコトハ知テ居ル、若シ個人ニ個性訓練ガ大切デアラナラバ、外交ニ於テハ相手方ノ心理、即チ民族心理ト云フコトハ、研究ナドト云フムツカシイコトハセズトモ、之ヲ認メタ上デ外交ヲスルコトガ大切デアリハセヌカト思フ、昨日副島伯爵ガ色々ノ點ニ付誠ニ穿ツタ外交論ヲサレタヤウデアリマスルガ、私ハソレニ一ツ附ケ足シマシテ、外交ニハ民族心理ト云フモノヲ度外視セズニ取掛ルト云フコトガ必要デアルト申シタイ、四十年前來所謂學者ト云フ連中ガ之ヲ說クコト至レリデアリマスル所ノ各國ノ民族心理、之ヲ無視スル所カラ、外交外政ニハ往々逆結果ガ來ルト云フコトニナルノデアリカ、是等ハチヨット一言ダケハ申サセテ戴キタイノデアリマス、敬ノ外交、愛デハナク敬ノ外交、敬ノ外交ガ即チ惟レ皇道外政デアリマス、スメラミコトノ道ニ遵フ所ノ外政ヲヤレバ、是ハ即チ敬ノ外交トナルノデアリマス、直キヲ養ウテ害フコトナケレバ浩然トシテ天地ノ間ニ塞ガルト云フ、此ノ襟度ヲセメテ養ハル、コトガ、外交機關ノ極メテ低級ナル人々ニスラモ必要デアラウカト思フノ

デアリマス、併シ西洋各國ノ人々ニ、恐ラクハ共通ノ民族心理デアラウト思ヒマスルコトハ、純ト云フコトガ稍、アル、特ニ擧ゲテ言フニ足ル程アル、又直ト云フコトガ稍、アリ、更ニ又單ト云フ、單純ノ單、簡單ノ單、良イ意味ノ單モアリマス、純ト直ト單ト云フコトダケヲ吞込ムダケデモ、私ハ西洋各國ニ對スル外政ニ逆結果ト云フモノヲ回避スルニハ相當ノ效力ガアリハセヌカト、斯様ニ想像致スノデアリマス、是ハ蛇足デアリマスルケレドモ一言添ヘテ置キマス、サウシテ右ノヤウナ次第デアリマスルカラ、彼等西人ハ益々好ミマス、併シ便辟、善柔、便佞ノ損友ト云フヤウナ態度ノ者ハ、歐米人ハ好マナイ、大多數ハ益友ヲ尙ビマスルガ、損友ハ好ミマセヌ、殊ニ是等ノ點ニ付テハ、米人ガ最モ顯著デアリヤウニ考ヘラレマス、斯様ナコトヲ此ノ席デ申ス必要ハナイノデアリマスルケレドモ、私ノ謂フ散ノ外交トハドシナモノヲ意味シタカノ説明トシテ申スノデアリマス、第二ニ教政ノ新秩序ニ付テハ、是ハ私モ若干或時代ニ於キマシテ教政機關、文部省カラノ囑託ヲ受ケマシテ調査研究シ復命シタコトモアルノデ、事多端ニ互リマスケレドモソレハ申シマセヌ、唯三ツバカリノ點ヲ申シテ置キタイ、一ツニ教育教化ノ根本方針ガドウモ植民地のニナツテ居リハセヌカ、諄イコトハ申シマセヌ、人間ノ頭ノ中ニ於テモ然リ、人間ノ頭ノ外ニ於テモ然リ、學問思想ナドニ於テモ、隨分猿芝居式、借衣式ノモノガアリハセヌカ、當局大臣ハ國內新秩序ト云フコトニ御決心ガ付キマシタナラバ、之ヲドウ取扱フカ、ドウシテ之ヲ改良スルカト云フ點ニ、御工夫ヲ御廻ラシシナルコトヲ希望シタイト思フノデアリマス、

サウ云フ猿芝居式、借衣式、植民地式ト云フヤウナコトガ聊カデモアリマスルト、茲ニ二ツ目ニ出テ參リマス所ノ弊害ハ不徹底デアリマス、此ノ不徹底ガ二面ニ向フヤウデアリマス、一ツハ教育ノ不徹底、先刻蔣介石君ニ付テ十年教訓ト云フコトヲ申シマシタガ、彼ハ途徹モナイコトヲ十年教訓シタ、併シ十年教訓ト云フ方法態度ダケハ、彼ノ徹底振リハ見事ナモノデアリマス、惡イコトガ徹底スレバ尙更惡イコトハ申ス迄モアリマセヌ、天下ノ誤解ヲ惹イテハイケマセヌカラ一言附加ヘマス、處ガ日本ノ教育ハ、申ス迄モナク教育勅語ニ遵ッデノ教育デアリマス、蔣介石君トハアベコベデ、比ベルコトスラ既ニ畏イコトデアリマスケレドモ、唯一ツ徹底ト云フ點ニ付テハ、マア蔣介石君ヲ引合ニ出サナクトモ宜イノデアリマスケレドモ、徹底ト云フ點ニ於テハ我が教育ハ更ニ大イニ工夫ヲ要スルコトガアリハセヌカ、ソレ等ノコトモ亦様々ノ原因ノ一ツトナリマシテ、我が國ヘノ有ラユル面ニ於テチヨイ／＼見受ケラレマスコトハ、本務ノ念、責任觀ト云フモノガドウモ少シク萎レカカツテ居リハセヌカト思ハレマス、三ツニハ矢張りソレ等ト同ジ兄弟分ノ現象デアリマスガ、國體明徹ト云フコトハ、此ノ十數年來、モウ識者ハ勿論ノコト、無識者ニ依ツテモ叫バレテ居リマス、併シナガラ是ガ聲、徒ニ大ニシテ實ハ則チ徹底セズ、周到ナラズト云フコトガアリハセヌカト思ハレマス、是等ノ點位ニ止メテ置キマスガ、教政、教育ニ於テモ新秩序ノ必要ガ大イニアルト思ハレマス、擬第三、上ガ信ヲ下ニ失フ、信ヲ民ニ失フト云フコトハ、事極メテ大デアリマス、孔子ハ兵ヲ足シ、軍備充實、食ヲ足シ、所謂商工省農林省ノ方々ノ

御心配ニナルコト、ソレカラ三番目ニハ、民ハ之ヲ信ズ、此ノ中ドレカラ若シ缺クトスルナラバ、兵ヲ足シ食ヲ足スト云フコトヲ缺イテモ、民ハ之ヲ信ズト云フコトダケハ、國ヲ經スル限リニ於テ缺イテハナラヌト云フ、私ハ此ノ意見ト同意見デアアルコトダケヲ一言申シテ置キマス、孔子ハ結論トシテ、民信無クンバ立タズト云フ、私ハ二三ノ例ヲ擧ゲレバモウ十分思ヒマスルカラ……、其ノ一ツノ例トシマシテハ、昨年ノ十一月上旬ニ於ケル米ノ突タル値上デアリマス

〔副議長 侯爵佐佐木行忠君議長席ニ著ク〕

五圓値上ノ件デアリマス、是ハ私ノ新潟縣デハ特ニ縣農林技師ヲ上京セシメマシテ、主管ノ官廳ヘ出頭サセマシテ更ニ御方針ヲ承ツタ、イヤモウ絶對ニ値上スルコトハナイカラ、今ノ中ニ米ヲ縣外ニ出サシテ呉レ、ソコデ縣農林技師某ハ之ヲ復命シマシタ、ソレデ序ダカラ前ヤレ、之ヲ助クルニ縣ノ警察官ヲ以テスル、三日バカリノ間ニ多分ノ量ヲ、縣外カラシテ特派遣セラレ又自ラ進ンデ來テ居ル米ノ取扱商人、ソレニ賣ツタノデアリマス、其ノ時ニハ、米ハ今後上ゲナイ、ノミナラズ來月位ニナルト云フト、所謂「レール」値段ト云フモノニナル「レール」渡シナル迄ノ諸費用二圓ニ近イモノガ負擔ニナル、ダカラ今ノ中ニ賣レ、ソレデヤツタ、處ガ僅カニ五日バカリニシテ、突然五圓値上ガ來タノデアアル、斯クノ如キハ實ニ念入りノ信ノ失ヒ方デアリマス、是程青天ヲ望ンデ白日ヲ仰グヤウナ信ノ失ヒ方ヲスルコトガ、大正昭和ノ聖代ニ於テアラウト云フコトハ、實ニ私共ハ夢ノ國ニ遊ンダヤウナ氣ガスルノ外ハナイノデアリマ

ス、是ハ勿論現內閣デアアリマセヌガ、私ハ今政治ニ付テ論ジテ居ルノデ、決シテ現內閣ノ糾彈演説ヲヤツテ居ルノデアアリマセヌカラ、惡シカラズ御聽取ヲ願ヒタイノデアリマス、二ツ目ニハ臺灣米穀移出管理法、私モ當時議員タルノ光榮ナル任務ヲ辱ウシテ居リマシタ、明カニ承ツテ居ル所謂總督府ガ石當ノ利益ガ二圓、是ハ併シ總督府ガ儲ケアウト云フノデヤナイ、一層有用ナ方ニ使フ、是ハ屢々聞カサレテ居タ、然ルニ只今ハ米ノ種類ニ從ッテソレガ七圓十七錢乃至十三圓二十五錢トナツテ居ル、而モ當局ハケロリトシテ居ル、是ハ是デ必要ニハ相違アリマセヌ、賢明ナル政府ハ、何內閣ニセヨ、是ニハ無論相當、否相當以上ノ理由ガアルニハ相違アリマセヌ、ケレドモ、人民ハ其ノ理由迄ハ皆承ル譯ニハ行カヌ、結果ハ如何ニモ民ニ信ヲ失フノ行爲トナル、是ハ決シテ目出度イコトトハ言ハレマイト思フノデアリマス、三ツニ阿部內閣ノ政治的食言ノ如キハ、勿論有ラユル場合ト同ジク是モ相當以上、又或意味ニ於テハ御同情申スベキ理由モ澤山アルノデアリマスルケレドモ、是モ民ニ不信ト云フ結果ヲ持チ來シマス、是等ハ何トカ一ツ始末ヲ付ケテ戴キタイ、或ハ言葉、或ハ御布告、或ハ又實質的ノ方法デヤル、私ハ、民信ジナグンバ立タズ、信ヲ一ツ大イニ尊重シテ戴カナケレバナラヌト云フノデアリマス、ソレカラ四ツニハ、小サイコトノヤウデアリマスルケレドモ、尺貫法ト「メートル」法トハオ互ニ割切レナイ數デアリマスカラ、ソコニ胡麻化ス積リデナクツテモ、結果ハ胡麻化スコトト同ジコトガ出テ來ル、當テ或大キナ「デパート」デ以テ味喰ガ五百匁アルベキ所ガ三百五十匁シカナカツタ云フ、割

リ切レル場合デサヘモソナ事ガアル、是ハ愚ナ商人ノヤリ方デアリマス、ソレヲ割リ切レナイ場合ハ尙更ナル、例ヘバ一斗云フコトガ十四「キロ」トカ云フコトナリマス、大分變テタコトガ出来テ来ル、而シテ之ヲ政府ガ後援スル、後ニハ政府ガ控ヘテ居ルト云フコトニナラヌヤウニ爲サル方ガ、是ハ政治自衛ノ道ダラウト思フ、「メートル」ト云フコトノ利害得失ヲ今此處デ申スノデヤアリマセヌ、凡ソ斯様ナ關スルコトノ廣イモノノ改革ヲヤラウト云フナラバ、有ラユル方面ニドウ云フ影響ガ及ブカ、又ソレガ爲ニ之ヲ實行スルニ付テハ幾多ノ準備モ必要ノモノナダ、ソレ等ヲ何モ考ヘナイデ、猪武者ノ如ク單純ニ突進スルト云フコトハ、如何ニモ革新主義ノ急先鋒タルノ資格アリト云ウテ宜シイ、動モスルト政府方面ノ人々ハ皆革新主義ニ反對ダト世間ハ誤解シテ居リマス、ケレドモ、私ヲ以テスレバ斯クノ如キ舉ヲ輕々シク斷行スルト云フノハ、革新主義ノ急先鋒ハ其ノ方面ニアリト申シタイノデアアル、軍事上ノ當局者ナドガ若シコナ輕卒ナル革新ヲヤッタラバ、進モノ「軍事ノ重責」ニ當ルコトハ出来ナイモノデハナイカト、私ハ側面カラ想像致シマス、五ツニハ、秘密ト云フコトガアル、是ハ非常ニ必要ニ相違ナイ、殊ニ今日ハ目モ當テラレナイ、第五十一議會ニ於キマシテ、私ハ實國ノ行爲取締ニ關スル質問云フ妙ナモノヲ出シマシタ、防諜ト云フコトハ是ハモウ實ニ大切デアアル、政府當局ノ苦心慘憺ハ誠ニ私共寧ロ涙ヲ以テ感謝シテ居ルンデアリマス、ケレドモ、過當ノ秘密ハドウ云フモノデアリマス、勿論是ハ實際ノ問題デアリマス、殊ニ錯誤秘密ト私ハ言ヒタイモノガアル、國

内臣民ニハ非常ノ秘密ニナッテ居テ、所謂防諜ノ諜ノ方ノ主體タル國ニハソレガ簡拔ケニ漏レル、是デハ何ガ秘密デアアルカ、私ハ過當秘密ニモ一考ガ必要デアリマス、ケレドモ、錯誤秘密ハ更ニ大イニ考ヘル價值ガアラウト思フ、是モ信ヲ臣ニ失フト云フコトノ一類ニナルノデアリマス、餘リ長クナツテモ恐入リマスガモウ直キ濟ミマス、モウ一ツ、七ツ目ニ私ハ申上ゲタイ、是ハ外務大臣ニ一ツ御聴取ヲ願ヒタイ、去スル二月七日ノ官報ノ附録トシテ出テ居リマス衆議院速記録ノ一節デアリマス、清瀨一郎君ガ斯ウ云フコトヲ申シテ外務大臣ニ質問シテ居ル、「日本人ニハ「イギリス」ハ二十七日ニ既ニ遺憾ノ意ヲ表シテ居ルト云ツテ我々ヲ騙シテ、肝心ノ「イギリス」ニハ君頼ム、日本ノ郵船會社ハ「ドイツ」人ヲ乗セスカラ頼ム、頼ムカラ遺憾ノ意ヲ書イテ呉レト云フ八百長芝居デ、日本ノ大事ヲドウシテ解決出来マスカ」、此ノ前後ニハ無論アリマサガ、是デケデ澤山デアリマス、ソレカラモウ一ツキリ話ヲシテ、サウシテ壇ヲ降ラレタ、サウスルト小山議長「靜肅ニ願ヒマス、政府ヨリ答辯ガアリマセヌ」トアリマスガ、荷モ一國ノ外務大臣ニ對シテ、無論清瀨代議士ハ言論ノ權利ヲ持ッテ居リマスガ、外務大臣ヲ以テ騙ス人デアリ……別ナ言葉デ申セバ虛言者ト云フ、而シテ外務大臣ハ之ニ御答ニナラヌ、是ガドウ云フ結果、效果ヲ生ズルカト云フコトハ、私モ寧ロ判斷ニ苦シムノデアリマス、或ハ斯ウ云フヤウナコトヲ此ノ儘ニシテ置クト云フコトハ、矢張り信ヲ臣ニ失スルト云フコトノ一ツノ材料ニナリハセヌカト甚ダ杞憂致シマスノデアリマス、併シ政治上ノ經歷ハ私ニハ何モア

リマセヌ、外務大臣ハ多大ノ經歷ヲ有セラレ、又其ノ經歷ヲ活カスダケノ立派ナル御人格者デアラレルノデアリマス、是デケハチヨット簡單ナル御答ヲ、御示ヲ願ヒタイト思ヒマス、第四ニ政治ノ唯物的墮落ノ傾向ニ付キマシテハ、是モ一ノ例ヲ舉ゲマス、一ツニ義務教育年限延長ト云フコトハ、ソレヲ抽象的ニ考ヘレバ誰モ反對ハナイデアリマセウ、併シ義務教育年限延長論ノ思想的解剖ヲチヨット試ミテ見タイ、ソレハ無論幾多ノ思想カラ來ルノデアリマス、ケレドモ、或ハ其ノ中ニハ教育ノ質ヲ顧ミズシテ、單ニ數ヲ以テ尊シト爲スト云フヤウナサウ云フ所カラ來ルコトモ幾多ノ論點ノ中ニハ入ルノデハナイカト思フノデアアル、二ツニハ人多ケレバ天ニ勝ツ、天定ッテ能ク人ニ勝ツ、人多ケレバ天ニ勝ツ、天定ッテ能ク人ニ勝ツ、斯ウ云フヤウナ考ガ今日東西ノ思想界ニ於テ若干アリハセヌカ、當テ政治家ハ政治ハ力ナリト云フコトヲ申シマシタガ、如何ニモ人間ニハ智情意ガアル、意ハ力ヲ以テ勵ク、故ニ是ハ當然ノコトデアリマセウ、政治ニ力ハ無用ナリト誰ガ申シマス、政治ハ力、而シテ唯力、是ガ即チ人多ケレバ天ニ勝ツ、人多ケレバ天ニ勝ツ、天定ッテ能ク人ニ勝ツ、人多ケレバ天ニ勝ツ、天定ッテ能ク人ニ勝ツ、斯ウ云フヤウナコトガ若シアリトセバ、即チ政治ノ唯物的墮落ノ傾向ノ矢張り一例タル價值ハアラウト思ヒマス、サア少し具體的ノ例ヲ舉ゲマスガ、三ツニハ市町村吏員ノ不正ガ續出スルコトデアリマス、自治體吏員ノ不正ガ續出スルコトデアリマス、之ニ付テ若干ノ具體的ノ例モアルガ、

餘リ深ク入ルノハ殺風景デアルカラ申シマセヌ、自治體ト云フモノノ事實上ノ肅正、竝ニ進シテハ制度上ノ肅正ハ是レ今日ノ急務デアリマス、然ルニ幾多ノ質問モアリマシタガ、内務大臣モ其ノ急務ハ非常ニ御認メノヤウデアリマス、ケレドモ、之ニ對シテ之ニ處スル所以ガマダ付キ兼ねルト云フノデ、モウ少し待ッテ呉レト云フ御答辯デアッタト思ヒマス、私ハ唯政治ノ唯物的墮落ノ傾向ガ日ニ月ニ顯著ニナリツ、アルト云フ事實ノ例トシテ申スダケノコトデアリマス、四ツニハ豫算ニ於ケル數字偏重ト云フコトガアリハセヌカ、何カ政治的施設ニ於テ良イコトヲ考ヘ付イテヤラウトスレバ豫算ニ要求シ、豫算ガ成立シタト云フト殆ドソレデ我ガ事畢レリノヤウナコトニナルト云フ、事實デアリマセヌ、傾向ガアリハセヌカト云フ點デアリマス、五ツトシテ是亦添ヘテ申シマスガ、日露戰役ノ以前ニ、凡ソ一億八千萬臺ノ豫算デアッタ所ヘ、三億六七千萬ト云フモノガ非常特別稅トシテ計上サレタ、非常特別稅ト云フ名前デアッタニモ拘ラズ、ソレガ日露戰役ガ濟ムトソックリ其ノ儘永久稅ニナツタ、斯ウ云フヤウナコトハ昔ノ歴史デアリマス、ケレドモ、今日非常時ニ我々ハ際會シテ居ルノデアリマス、カラ、戰後ニ若シモ其ノ二ノ舞ヲヤラレタラ堪ラヌノデアリマス、政治ノ唯物的墮落傾向ト云フ二三ノ例ヲ舉ゲマシテ、遂ニ豫算ト特別稅ノ話ニナリマシタカラ、之ヲ結ビト致シマシテ、茲ニ私ノ國內新秩序ノ建設ト云フ之ヲ實行、斷行セラレルナラバ、當局ガ東亞新秩序ノ建設、況ヤ支那新秩序ノ建設、汪兆銘君ニハ若干ノ進歩ヲ促シ、蔣介石君ニハ生レ變ッテ貰フト云フコトナ

ドハ、朝飯前ノ事デアリ、現内閣之ニ向ヘバ、朝日ガ積タル雪ヲ融カス如キモノデア
ルト云フ信ヲ内外ニ御打立デニナルト云フ
コトノ、論理上ノ希望ヲ聊カ具體化シテ申
シタノデアリマス、總理大臣以下各大臣ニ
ハ、是迄モ固ヨリ善イ政治モ澤山アルノデ
アリマス、從來ノ諸内閣ハ、後ニ模範ヲ垂
レ參考ヲ供スル積リモアツタカモ知レマセ
ヌガ、是等ノ諸内閣ノ失政ニ鑑ミ、又組閣
日尙淺キコトデアリマスルケレドモ、是カ
ラ先モ長イコトデアリマスルノデ、斷然積
年沈滞セル弊事ニ革新ヲ御施シニナルト云
フ御考モアラセラルコトデアラウト思ヒ
マスルガ、若シ御答ガアリマスルナラバ承
リタイ、以上述べマシタル所、舊秩序ト云
フモノハ何カラ來タカ、皆正シキヲ養フト
云フ精神ノ缺如セル、ソレニ因ルノデアリ
マス、正道ニ率ヒ行フト云フ、ソレノ弛緩ス
ルコトニ依ッテ生ズルノデアリマス、サレ
バ新秩序ハ、必ズ正シキヲ養ヒ道ヲ行フト
云フ其ノ國內新秩序、正シキヲ養ヒ道ヲ行
フノ東亞新秩序、乃至正シキヲ養ヒ道ヲ行
フノ世界新秩序ナラザルベカラザルコト
ハ、明々白々更ニ一點ノ疑ガナイノデアリ
マス、苟モ近衛聲明ノ超大乘性、極大乘性、
之ニ顧ミ、新秩序建設ノ至ッテ重ク、至ッテ困
難ナル事ヲ御思ヒナサルコトガ出來マスル
ナラバ、イヤ思ッテイラセラルニ相違ナイ
ノデアリマスガ、其ノ時ニ於テ、而モ皇紀特
ニ二千六百年ノ今日ニ於キマシテ、天
ガ特ニ我ガ米内閣ヲ此ノ土ニ生ゼシメタ
ト云フコトガ偶然ニアラザルコトヲ知ルベ
キデアアルノデアリマス、私ノ衷情ハ滿腹ノ敬
意ヲ現内閣ニ拂フノデアリマスルガ、事ヲ
論ジテ甚ダ冗漫デアリ、又言葉ノ甚ダ野卑

ニ互リマシタル點ハ、獨リ内閣諸公ニ對シ
テノミナラズ、滿場ノ同僚諸君 諸閣下ニ
對シテモ御詫ヲスル次第デアリマス
(國務大臣米内光政君演壇ニ登ル)

異ニスルモノデアリマス、此ノ來ルベキ東
亞新秩序ノ建設コソハ、物心幾多ノ犠牲ヲ
償ッテ餘スナキヲ信ズルモノデアリマシテ、
此ノ聖戰ノ目的ニ徹スルナラバ、敢テ領土
ヲ求メズ、敢テ賠償ヲ要求致シマセヌデモ、
國民ハ満足ヲ致スモノト信ジテ居リマス、
政府ト致シマシテハ、事變處理ノ根本方針
ヲ一層國民ノ間ニ徹底セシメマシテ、苟モ
不滿ヲ生ズルガ如キコトノナイヤウニ努力
ヲ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、
次ニハ十三年ノ十二月二十二日ノ近衛總理
大臣談ト云フモノノ中ニ、最小限度ノ要求
ト云フコトガ書イテアリマス、此ノ點ニ關
スル御質問ニ對シマシテハ、他日適當ノ機
會ニ於キマシテ御答ヲ致シタイト存ジマス、
其ノ次ニ國內新秩序ニ關スル御質問デアリ
マスルガ、私カラ、第三ノ國民ニ信ヲ失フ
ナカレト云フコトニ付テ、私ノ所見ヲ述ベ
マシテ御答ヘ致シタイト思ヒマス、私不肖
内閣ノ首班ト致シマシテ政治ノ運籌ニ當ル
ニ付キマシテハ、事ヲ決スルニハ飽ク迄慎
重ニ十分ナル検討ヲ加ヘマスルト共ニ、一
度決定致シマシタコトハ飽ク迄之ヲ行フ所
存デアリマス、又其ノ施策スル所ニ、常ニ
一貫セル方針ヲ以テ進ミタイト考ヘテ居リ
マス、斯ク致シマシテ強ク正シキ政治ヲ行ッ
テ參ルコトヲ念願ト致シテ居ル次第デゴザ
イマス、以上ヲ以テ御答ト致シマス

秩序ト云フコトニ付テ御話ガアリマシテ、
教育教化ノ根本精神ガ植民地のデアルヤウ
ニ思ハレルガ、此ノ點ヲ是正スルコトニ付
テ當局者ハ如何ニ考ヘテ居ルカト、斯ウ云
フ御尋ネデアッタヤウニ拜承ヲ致シマシタ
御尋ノ御趣意ハ、我ガ國ノ教育教化ノ根本
方針ガ動モスレバ外國文化ノ模倣ト云フ
コトニ偏シテ居ルノデハナイカト、斯ウ云
フヤウナ意味ヲ含ンデノ御尋カト諒承致シ
タノデアリマスガ、我ガ國ニ於キマシテハ、
明治維新以來急速ニ諸外國ノ文化ヲ吸收攝
取致シマシテ、我ガ獨得ノ文化ヲ建設致
シマス方針ヲ採リマシタルデアリマス、從ッ
テ初メハ動モスレバ模倣ト云フコトガ專
ラデアッタ時代モアツタノデアリマス、是ハ
或時代トシテハ已ムヲ得ナイコトデアッタ
カト存ジマスガ、今日ハ最早模倣ノ時代
ヲ過ギマシテ、我ガ國體ノ本義ニ則リ我ガ
國民精神ニ立脚シテ我ガ獨立ノ學問文化ト
云フモノヲ押立テベキ時代ニ到著致シテ
居ルト考ヘルノデアリマス、此ノ意味ニ於
キマシテ、當局ト致シマシテハ最善ノ努力
ヲ致シテ居ル次第デアリマス、今後斯ウ云
フ點ニ於キマシテハ、我ガ國體觀念ニ則リ
國民精神ニ立脚シテ我ガ獨自ノ學問文化ト
云フモノガ、眞ニ發達ヲ致スヤウニナルコ
トヲ期待シテ居ル次第デアリマス、ソレカ
ラ其ノ次ニ、此ノ義務教育年限ノ延長ト云フ
コトガ唯徒ニ教育ヲ受ケタ者ノ數ヲ殖ス、
唯數ヲ殖スヤウナ觀念ニ基イタモノデハナ
イカト云フヤウナ意味ノ御尋デアッタカト
拜承致シマシタガ、今回、政府ニ於テ企圖
致シテ居リマスル義務年限ノ延長ト云フコ
トハ、唯義務年限ヲ延長致スト云フコトノ
ミニ止ルノデハナクシテ、教育ノ内容ヲ改

○國務大臣(米内光政君) 御答ヲ致シマス、
先ヅ初メニ、八紘一宇ト申シマスコトト、
東亞新秩序ノ建設ト云フコトニ關シマシテ
ノ見解ヲ申上ガマシテ、以下具體的ノ御質
問ニ御答ヘ致シタイト存ジマス、八紘一宇
トハ、神武天皇御創業ノ大精神デアリ、廣大
無邊ノ御仁德ヲ普ク天ガ下ニ布キ弘メ給フ
所ノ大御心デアアルト拜察ヲ致シテ居リマス、
又東亞新秩序ノ建設ト云フコトニ關シマシ
テハ、近衛聲明ニモ書イテアリマス通りデ
ゴザイマスルガ、只今此ノ東亞新秩序ノ根
本ニ關スル御高見ヲ拜聽致シマシテ、御同
感ノ點ガ多スアルノデゴザイマス、要スル
ニ東亞新秩序ノ建設ト申シマスコトヲ要約
致シマスレバ、抗日容共ノ指導精神ヲ持ッ
テ居ル所ノ蔣政權ヲ飽ク迄打倒ス、サウシ
テ支那ヲ完全ナル獨立ニ導キ、日滿支共ニ
善隣友好ノ實ヲ擧ゲマシテ、經濟的ニモ提
携シ、尙防共ノ強化ヲモ圖ルト云フコトデ
アリマス、斯クシテ茲ニ東亞ノ新秩序ガ建
設セラレルノデアルト考ヘルノデアリマス、
固ヨリ諸外國ノ權益ヲ侵スコトナキハ勿論
デアリ、其ノ正當ノ權益ハ之ヲ助長セラル
ベキモノデアルト考ヘテ居リマス、斯クノ
如ク致シマシテ東亞ノ永遠ノ平和ト云フモ
ノガ得ラレル、斯様ニ考ヘテ居リマス、次
ニ御質問ノ第一點ト致シマシテ、支那事變
ノ目的ハ、實ニ東亞ニ於ケル新秩序ヲ建設
シ、肇國以來ノ國是デアリマスル所ノ八紘
一宇ノ大理想ヲ實現スルニアルノデアリマ
シテ、所謂侵略戰爭トハ根本的ニ其ノ類ヲ

○國務大臣(松浦鐵次郎君) 只今建部サン
ノ御質問ノ中デ、特ニ私ニ御尋ニナリマシ
タハ紘一宇ト云フコトト東亞新秩序ノ建
設ト云フコトノ關係ニ付キマシテハ、只今
總理大臣ヨリ御答辯ガアリマシタルノ御
諒承ヲ願ヘタコトト存ジマス、尙教政ノ新

秩序ト云フコトニ付テ御話ガアリマシテ、
教育教化ノ根本精神ガ植民地のデアルヤウ
ニ思ハレルガ、此ノ點ヲ是正スルコトニ付
テ當局者ハ如何ニ考ヘテ居ルカト、斯ウ云
フ御尋ネデアッタヤウニ拜承ヲ致シマシタ
御尋ノ御趣意ハ、我ガ國ノ教育教化ノ根本
方針ガ動モスレバ外國文化ノ模倣ト云フ
コトニ偏シテ居ルノデハナイカト、斯ウ云
フヤウナ意味ヲ含ンデノ御尋カト諒承致シ
タノデアリマスガ、我ガ國ニ於キマシテハ、
明治維新以來急速ニ諸外國ノ文化ヲ吸收攝
取致シマシテ、我ガ獨得ノ文化ヲ建設致
シマス方針ヲ採リマシタルデアリマス、從ッ
テ初メハ動モスレバ模倣ト云フコトガ專
ラデアッタ時代モアツタノデアリマス、是ハ
或時代トシテハ已ムヲ得ナイコトデアッタ
カト存ジマスガ、今日ハ最早模倣ノ時代
ヲ過ギマシテ、我ガ國體ノ本義ニ則リ我ガ
國民精神ニ立脚シテ我ガ獨立ノ學問文化ト
云フモノヲ押立テベキ時代ニ到著致シテ
居ルト考ヘルノデアリマス、此ノ意味ニ於
キマシテ、當局ト致シマシテハ最善ノ努力
ヲ致シテ居ル次第デアリマス、今後斯ウ云
フ點ニ於キマシテハ、我ガ國體觀念ニ則リ
國民精神ニ立脚シテ我ガ獨自ノ學問文化ト
云フモノガ、眞ニ發達ヲ致スヤウニナルコ
トヲ期待シテ居ル次第デアリマス、ソレカ
ラ其ノ次ニ、此ノ義務教育年限ノ延長ト云フ
コトガ唯徒ニ教育ヲ受ケタ者ノ數ヲ殖ス、
唯數ヲ殖スヤウナ觀念ニ基イタモノデハナ
イカト云フヤウナ意味ノ御尋デアッタカト
拜承致シマシタガ、今回、政府ニ於テ企圖
致シテ居リマスル義務年限ノ延長ト云フコ
トハ、唯義務年限ヲ延長致スト云フコトノ
ミニ止ルノデハナクシテ、教育ノ内容ヲ改

善刷新政シマシテ、我が皇道精神ニ基キマシテ、眞ニ次代ノ大國民ヲ養成スルト云フ趣意ヲ以チマシテ、從來ノ學科課程ニ全面的ニ改善ヲ加ヘマシテ、徳性ノ涵養、知能ノ發達、是ガ相結ビ付キマシテ、眞ニ次代ヲ背負フベキ國民ヲ練成スルト云フ意味ヲ以テ、教科課程ニ於キマシテ全面的ニ改正ヲ加ヘル意味ニ相成ツテ居ルノデアリマス、唯年限ヲ延スト云フ意味デハナクシテ、其ノ内容ヲ改善スル、内容ノ改善ト云フコトガ年限延長ト相伴ツテ、從來ヨリモ一層進シテ國民教育ノ基礎ヲ作ラウト、斯ウ云フ意味デ企圖致シテ居ルノデアリマス、何卒左様ナ意味ニ御諒承ヲ願ヒタイト考ヘマス、尙其ノ他種々ノ點ニ付キマシテ御尋ガゴザイマシタガ、是ハ御述ニナリマシタ所ハ御同感ノ點モ多クアルノデアリマシテ、是ハ別ニ或ハ御答辯ヲ申サナクテモ宜シイカト存ジマスルノデ、謹ンデ御論ヲ拜聽スルコトニ致シタイト考ヘマス

〔國務大臣有田八郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣〔有田八郎君〕 只今ノ建部博士ノ御質問中、外交ニ關スル點ニ付キマシテ御答ヲ致シマス、日本ノ外交方針ガ八紘一宇ノ大精神ニ基イテ居リマス云フコトハ、有ラユル機會ニ於テ申述ベタ所デアリマシテ、即チ日本ノ外交ガ、皇道外交デアリ道義外交デアルト云フコトハ此ノ點ヲ現シテ居ルノデアリマス、世界ノ各國ヲシテ其ノ處ヲ得シムルト云フコトガ、日本外交ノ精神デアルト考ヘテ居ルノデアリマシテ、或ハ多少正確ヲ缺クカトモ存ジマスルガ、國際正義ヲ實現スルト云フ風ナコトモ其ノ大精神ニ則ツテ居ルノデアルト存ジテ居ルノデアリマス、詳細ニ互リマシテハ此ノ席ニ

於キマシテ説明スルコトヲ避ケタイト存ジマスルガ、ソレハ東亞新秩序トノ關係ニ於テデアリマスルガ、先程ノ御質問中、東亞ノ新秩序建設ノ場合ニ日滿支ノ間ニハ養正ノ精神ヲ行カナケレバナラスノデヤナカラウカト云フ、斯ウ云フ點ガアッタヤウデアリマスルガ、是ハ私共モ全然左様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、世界ニ於テ、東亞ノ新秩序ヲ建設スルト云フコトガ、世界ノ他ノ部分トノ間ニ矢張り養正ト申シマスカ、正シキヲ行ツテ行クト云フ精神ニ據ラナケレバナラスト同ジヤウニ、東亞ノ新秩序ノ中ニ於キマスル日滿支ノ關係ニ於テモ、矢張り此ノ精神ガナクテハナラナイト考ヘテ居ルノデアリマシテ、此ノ點ニ付キマシテハ建部博士ト同ジ考デアルト私ハ存ジテ居ルノデアリマス、ソレカラ外政ニ於ケル新秩序ト云フ確カ御質問ノ中ニアッタと思フノデアリマスガ、愛ノ外交デナク、敬ノ外交デナケレバナラナイト云フコトデアッタト拜承スルノデアリマスガ、要スルニ私共ハ、外交ヲヤツテ行キマスル上ニ於テ相手國ヲ十分尊重シテ行カナケレバナラナイノデアリマスルガ、其ノ結果ガ侮リヲ受ケルト云フ風ナサウ云フヤウナ結果ヲ招クコトデアツテハナラナイト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレガ愛ノ外交デアアルカ、敬ノ外交デアアルカハ私共ハハッキリ存ジマセヌケレドモ、併シナガラ侮リヲ受ケルヤウナコトニナツテハイカヌ、是ハ即チ度ヲ過ス結果ガ其處ニ到ルノデアアラウト思フノデアリマス、愛デアツテモ敬デアツテモ、要スルニ度ヲ過ギテ外國カラ侮リヲ受ケルヤウナコトデアツテハイケナイト云フ考デアツテ居ルノデアリマス、其ノ點ハ御諒承ヲ願ヒタイ

ト思フノデアリマス、最後ニ過般ノ衆議院ノ本會議ニ於キマスル清瀨君カラノ御質問ニ對シテ、外務大臣ハ何等答ヘナカッタガ、ドウ云フ譯カト云フ御質問デアリマシタガ、アノ際ノ質問者ノ質問振リハ、自ラヲ高クスル者ノ言フベカラザルコトヲ言ツテ居ルト思フノデアリマシテ、換言シマスレバ、天ニ向ツテ唾ヲシテ居ルト同ジコトデアツテ、人ニ向テ唾ヲシテ居ルト思ツテ居ルガ、豈圖ランヤ、其ノ唾ハ相手ニ達セズ自ラノ身ニ掛ツテ居ルト云フコトデアリマシテ、默殺シテ置クト云フコトガ最も有效ナル方法デアルト存ジマシテ、私ハ何等之ニ答ヘナカッタノデアリマスカラ、其ノ點御諒承ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○建部遷吾君 簡單デアリマスカラ此ノ席デ……

○副議長〔侯爵佐佐木行忠君〕 宜シウゴザイマス

○建部遷吾君 三大臣カラ各、委曲御答辯ニ接シマシタガ、答辯ノ中ニハ、尙更ニ伺ヒタイ點モアリマスルガ、是ハ私ダケノ事柄ノヤウデアリマシテ、議場ノ方々ヲ煩スベキデナイト思ヒマスルノデ、私ガ申上ゲマシタ各點ハ、御答辯ニ於テ、否寧ロ御答辯ノ御態度ニ現ハレタヤウニ、過當ナル尊重ヲ頂戴致シマシタコトニ満足致シマシテ、其ノ他ハ他日ノ機會ヲ期スルト云フコトノ意味ニ於テ、今日ノ質問ハ是デ打切りマス

○副議長〔侯爵佐佐木行忠君〕 本日ハ此ノ程度ニ於テ延會致シタイト存ジマス、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長〔侯爵佐佐木行忠君〕 御異議ナイト認メマス、次會ノ議事日程ハ、決定次第

彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會致シマス
午後零時九分散會

貴族院議事速記録第十二號正誤

頁	段	行	誤	正
九九	四	一四	豫算ニ大要並ニ事	豫算ノ大要並ニ事
三二	一	二二	調査	調整